帯大谷 旭川実 熱戦再び

原尾が先発、二回まで無得点

夏の高校野球 北北海道大会

【旭川】第6日は23日、旭川スタルヒン球場で帯大谷─旭川実の再試合を行った。帯大谷は2年生の原尾周吾が先発のマウンドに上がった。22日の試合は帯大谷が八回に3─3の同点に追いつき延長に突入、エース杉浦稔大（3年）が再三のサヨナラのピンチをしのいで投げ抜いたが、両チームとも追加点を奪えず規定により引き分け再試合となった。北大会での延長規定による再試合は十八回制の時代を含めて史上初。釧路江南は5─4で遠軽を振り切った。

（古川雄介、金野和彦）

【準々決勝・帯大谷─旭川実】帯大谷は初回、２死から３番岩野裕樹が左前へチーム初安打を放つ

◇2回戦（23日）

帯大谷	00
旭川実	00

（午後1時25分現在）

＜先発オーダー＞

【帯大谷】	【旭川実】
⑦　佐藤	⑦金丸
⑤　田中	④細坂
⑨　岩野	⑧田原
⑧　杉浦	⑤　関
③　中島	⑨大保
⑥　吉田	③持立
②　望月	⑥川瀬
①　原尾	②成田
④　大熊	①成瀬

3時間45分の死闘

ここ一番で集中力

北大会初 延長引き分け再試合

追いついた帯大谷、追いつかれた旭川実だが、両チーム譲らず3時間45分に及んだ試合は史上初の引き分け再試合に。終盤やや押されたが、帯大谷はエース杉浦稔大（3年）を中心に守りきった。佐藤孝広主将（同）は「最後まで集中力があった」と試合後も引き締まった表情だった。

網野元監督は「負けたくない気持ちが伝わってきた。普段から長い時間の練習をしてきたことが集中力につながった」と評価。平日は全体練習4時間のほか、朝や夜に自主練習を行い、各自が6時間を超える練習に没頭。こなすのではなく〝1球1球に集中する〟ことを大切にしてきた。

しり上がりに調子を上げて九回2死満塁などをしのいだ杉浦は、気迫の240球で15三振を奪い完投。「投げているうちにフォームが安定した。こんなところで終わりたくない強い気持ちで一番いい球を投げた」とうなずく。球数は1度も見ることなく、打者との勝負に全力を注いだ。

しかし打撃は九回以降1安打に抑え込まれるなど、旭川実の投手陣を攻略できずに終わり杉浦を援護できなかった。ともに疲労の残る翌日の再試合、投手起用も勝敗のカギとなるが、「だれが来ても打つ。同じことはできない」（佐藤主将）と、今度こそしっかりととらえるつもりだ。

◇２回戦（22日）

帯大谷	100000020000000	3
旭川実	100000200000000	3

帯大谷

	打数	安打	打点	三振	四死	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑧ 佐藤	6	3	0	1	0	二安		三振			一安		一ゴ		右飛			一犠		右安
⑤ 田中	4	1	1	0	0	捕犠		二ゴ			投犠		遊安		二飛			一犠		二直
⑨ 岩野	5	0	0	2	1	四球			三振		投ゴ		三振			左飛		二ゴ		
① 杉浦	6	0	0	5	0	三振			三振			三振		遊飛		三振			三振	
③ 中島	6	1	1	2	0	左安			三振			三振		二ゴ		投ゴ			遊飛	
⑥ 吉田	4	0	0	1	2		三振			四球		二ゴ		死球			二ゴ		一失	
② 望月	6	0	0	2	0		三振			三振			一飛	二飛			三ゴ		左飛	
⑦ 佐々木武	6	1	0	1	0		三振			二併			中安		左飛		二ゴ			中飛
④ 大熊	4	1	0	1	2			右飛			遊ゴ		中安		四球			死球		三振
犠併残盗失 4 1 8 1 2	47	7	2	15	5															

旭川実

	打数	安打	打点	三振	四死	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑧ 田原	4	2	0	1	0	三振	右安			中2		一犠		遊ゴ						
8 菅野	1	0	0	1	1										三振			四球		
④ 細坂	7	3	1	2	0	遊安	三振			投ゴ		左安		遊安		三振		投直		
⑨ 大保	4	1	0	1	2	投犠		三振		遊ゴ		四球		四球		遊飛			二安	
⑤ 関	3	2	2	1	2	中2		一犠		四球		左安		四球		三振			投犠	
⑦ 金丸	7	0	0	2	0	中飛		一ゴ		三振		二ゴ		三振			左飛		中飛	
③ 持立	3	0	0	0	0		中飛	遊ゴ			左飛									
H 黒浜	1	0	0	1	0								三振							
3 居石	3	0	0	0	0										三ゴ		二失		中飛	
⑥ 川瀬	5	0	0	0	1		二飛		一飛		投ゴ		三ゴ		四球		三犠			一飛
② 成田	5	0	0	3	1		死球		三飛		三振		三振		三振		遊ゴ			
H 渡部	1	0	0	0	0															遊ゴ
① 鈴木	5	3	0	1	0		右安		左飛			左安		三振	右安					
1 野原	2	0	0	2	0													三振		三振
犠併残盗失 5 0 15 6 2	51	11	3	15	7															

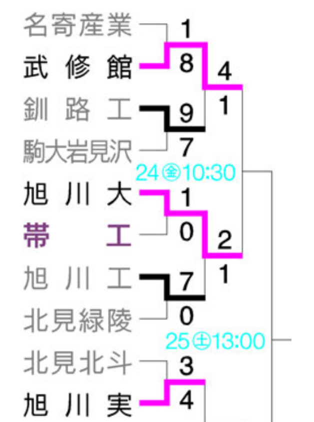
	回数	打者	球数	安打	三振	四死	自責
杉浦	15	63	240	11	15	7	3
鈴木	10	38	141	6	12	4	2
野原	5	18	63	1	3	1	0

▽二塁打＝関、田原（旭）▽盗塁＝吉田（帯）、田原、細坂、大保２、関、鈴木（旭）▽盗塁死＝菅野（旭）▽走塁死＝岩野（帯）▽けん制死＝細坂（旭）▽暴投＝杉浦２（帯）▽失策＝望月、大熊（帯）、居石、川瀬（旭）▽審判＝久保、小林、小倉、大矢▽試合開始＝10時28分▽試合時間＝３時間45分

帯大谷は2点を追う八回、1死から佐々木武、大熊の連続中前打で一、二塁とし、佐藤の内野ゴロの間に進塁して2死二、三塁。田中の内野安打が悪送球を誘い、佐々木武と大熊が生還して同点に追いついた。九回以降は旭川実の継投策の前に安打1本に押さえ込まれた。先発・杉浦は九回2死満塁の場面で後続を三振、十回も2死二、三塁のピンチを迎えたが三振で切り抜け得点を許さなかった。

◇２回戦（22日）

釧路江南	100003100	5
遠軽	000010120	4



開西・つつじが丘は初戦惜敗

全日本学童軟式野球予選

【富良野】少年軟式野球の高円宮賜杯第29回全日本学童大会マクドナルド・トーナメント北北海道予選大会がこのほど、富良野市民野球場などで行われた。帯広支部代表の開西・つつじが丘マリナーズは1回戦で稚内少年団に5─6で惜敗した。

◇1回戦

稚内少年団	0001230	6
開西・つつじが丘マリナーズ	0001040	5

山本幸 大差で連覇

全日本マウンテンバイク選手権

兄の和弘は5位

山本幸平

【長野】マウンテンバイクの第22回全日本選手権大会（日本自転車競技連盟主催）が20日、長野県諏訪郡富士見町の富士見パノラマリゾートで行われ、クロスカントリーのシニアエリートクラスで昨夏の北京五輪日本代表の山本幸平（チームブリヂストン・アンカー─国際アウトドア専門学院、帯農高出・幕別町出身）が1時間35分17秒03をマーク、2位に7分14秒もの差をつける圧勝で連覇を達成した。

山本の兄・和弘（キャノンデール・ファクトリーレー─北海道ハイテクノロジー専門学校、帯三条高出）は1時間46分34秒80で5位だった。

今大会の同クラスには84人が出場。1周4・2㌔のコースを6周しタイムを競った。

今回のレースに関し幸平は自身のブログで「優勝することは絶対条件で、2位以下に5分以上のタイム差をつけてゴールすることが僕の目標でした。それが達成できたことは素直にうれしいことでした」とつづっている。

（関根弘貴）

かちまいスポーツ

初出場で準優勝に輝き、全国大会出場を決めた高木夢人

栄誉を讃えて
平成21年度
全国中学生テニス選手権北海道大会
男子シングルス
準優勝　高木　夢人
不断の練磨と輝く勝利の栄光に敬意を表します
平成21年6月28日
北海道テニス協会
会長　松木　武

高木（帯三中）準V全国へ

全国中学生テニス道大会

「自分のプレー試したい」

テニスの全国中学生選手権大会北海道大会（道テニス協会主催）がこのほど、札幌市の平岸高台テニスコートで行われ、男子シングルスに初出場した高木夢人（帯三中3年）が準優勝に輝き、8月に熊本県で行われる全国大会の出場権を獲得した。今季1番に掲げていた目標達成に高木は「全道で通用した自分のテニスを全国で試してみたい」と張り切っている。

（関根弘貴）

今大会、高木は「これまでは攻めの気持ちが強すぎて自ら失敗することが多かった。守りながら攻めることを意識して相手のミスを誘った」とロブ系のスピンボールで相手を左右に振ってポイントを量産した。

昨季まではサーブ&ボレーを繰り返す攻撃的なテニスが持ち味だったが「今までの戦い方のままでは全道レベルでは体力的に厳しくなる」と5月の全十勝ジュニア選手権大会でスピンボールで相手を崩すテニスに切り替えた。

「想像以上に効果的だった」。ひとつ上のカテゴリー、男子18歳以下シングルスで3位入賞。「これは全道で使えるかも」と手応えをつかんだ。

1、2回戦は8─3、8─0で突破。続く準々決勝の相手は常に4強入りする強豪だったが、終盤まで一進一退の互角の勝負を演じ、7─7から2ゲームを連取して競り勝った。

「厳しい試合だったが最後まで踏ん張れた」と高木。6月に元プロプレーヤーの杉山記一氏の講習会で「あきらめずにプレーする大切さを学んだことが生きた」という。

準決勝も「自分じゃないと思うほどの粘り強さ」で終盤の崩れやすさを克服し8─6で勝利。決勝は第1シードの相手に4─8で完敗したが、目標としていた選手に「夢人のボールは打ちづらかった」と言われ、自信がついた。

初めての全国大会に向けた課題はリターン。「正確に狙ったところに返すことで勝機を見出す」と初戦突破を果たし上位に食い込むつもりだ。

十勝カントリークラブ 来月6、7日開催

ジュニア対象のゴルフスクール

【音更】十勝カントリークラブ（音更町下士幌）は8月6、7の両日、午後3時から開催する第6回ジュニアサマーゴルフスクールの受講者を募集している。

小学生から高校生（7歳以上18歳まで）の男女が対象で、ゴルフ経験は不問。指導は大高陽一郎プロ。2日間にわたりゴルフの技術指導やルール、エチケット講習、ラウンドレッスンなどを行う。

申し込みは保護者が行い、参加料は1人2000円。受講者にはバッグタグ、ルールブック、練習ボール、ラウンド料金無料（早朝もしくは薄暮で時間制限あり）などの特典がある。申し込み、問い合わせは同カントリークラブ（0155・31・1917）へ。

記録の速報は▼kachimai.mobi　Eメール▼sports@kachimai.co.jp
写真がほしい▼TEL0120-25-9410　ファクス▼0155-25-2700

釣具専門
きた釣具店
帯広市西8南13 ☎22-8854

ゴルフ

◇糠内会（22日・札内川）
①布施広子80、14、66②小川春夫84、18、66③大石三男86、16、70④橋本一由82、11、71⑤布施鶴夫89、18、71
▽B・G＝布施広子80

◇十勝シニア部会（22日・札内川）
＜Sの部＞①安部勝洋79、16、63②大野英勝82、18、64③伊原とし子86、19、67④田島敏明92、25、67⑤新居照夫82、14、68
▽B・G＝藤田一美77
＜GSの部＞①山口俊男78、10、68②秋田要85、17、68③長田和人80、10、70④武田清邦85、15、70⑤中戸川繁83、12、71

◇青空会（22日・メイプル）
①村上慧77、5、72②中山昌治81、8、73③富田正二90、17、73④桜井喜久夫84、9、75⑤向井静夫86、10、76
▽B・G＝村上慧77

◇帯広&芽室会（22日・新嵐山）
①大野弘80、11、69②阿部昇81、12、69③中川雅雄92、20、72④松田弘之82、9、73⑤酒森弥一89、14、75
▽B・G＝大野弘80

◇シルバー杯（22日・十勝）
①和田一夫79、8・5、70・5②松田元宏97、23・5、73・5③金田景悟91、16・1、74・9
▽B・G＝和田一夫79

パークゴルフ

◇平原同好会ウイクデー大会（21日・平原）
＜男子＞①植地晃96②上嶋勇94、＋4、98③宮垣孝96、＋2、98④川岸政彦98⑤太田栄枝99
＜女子＞①谷保厚子98②鏡サダ子94、＋9、103③斉藤富美枝101、＋4、105④石森涼子97、＋9、106

◇黎明健寿会遠征会（22日・はらっぱ）
＜シニア＞①今野正102②関谷巌105③鈴木信三105④畑中雄司107⑤政氏義男108
＜一般＞①山口公達105②前田昇106③榎本武義106④秋江忠109⑤大石稔110
＜女子＞①岡田良子106②鈴木順子107③山口栄子108④仁井とよ子112⑤佐藤良子113